

平成 26 年 10 月 20 日

臨床研究に関する情報公開について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた「臨床研究に関する指針」に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報からは、お名前、住所など、直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

ご自身の診療データを研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名	体幹部造影 CT 検査における造影剤量低減と造影効果の検討
所属（診療科等）	滋賀医科大学放射線医学講座
研究責任者（職名）	新田哲久
研究期間	平成 26 年 10 月 20 日～平成 27 年 9 月 30 日
研究目的と意義	胸部動脈瘤や腹部動脈瘤の検査には CT 検査が有用で、手術前、手術後の評価では造影剤投与による精査が必要となります。造影剤投与の際には腎機能を評価し、腎機能に応じた造影剤量が造影剤腎症予防の観点から重要視されています。本研究の目的は、動脈瘤評価の造影 CT 検査において、腎機能低下による造影剤減量と造影効果について検証し、造影 CT 検査の最適化を目指すことにあります。
研究方法	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん 滋賀医大造影剤腎症ガイドラインに基づき胸部動脈瘤、腹部動脈瘤の精査目的で造影 CT 検査を受けた方●利用するカルテ情報 診断名、年齢、性別、身長、体重、検査結果、画像検査など●研究方法 64 列の MDCT をもちいた造影 CT 検査で、滋賀医大造影剤腎症ガイドラインに基づいた造影剤投与量を投与後の動脈優位時相における対象血管の造影効果（CT 値）を検証します。患者の体重と造影剤量を元に、得られた CT 値を分析し、造影剤量と造影効果の関係を明確にします。
問い合わせ先	滋賀医科大学 放射線科 担当医師 新田哲久 〒520-2192 大津市瀬田月輪町 ☎077（548）2288 FAX 077（544）0986